

第92回 定時株主総会 株式会社ユニバンス

2025年 6月24日

監査報告

「連結計算書類に係る 独立監査人の監査報告書」

報告書 33～34ページ

「計算書類に係る 独立監査人の監査報告書」

報告書 35～36ページ

「監査等委員会の監査報告書」

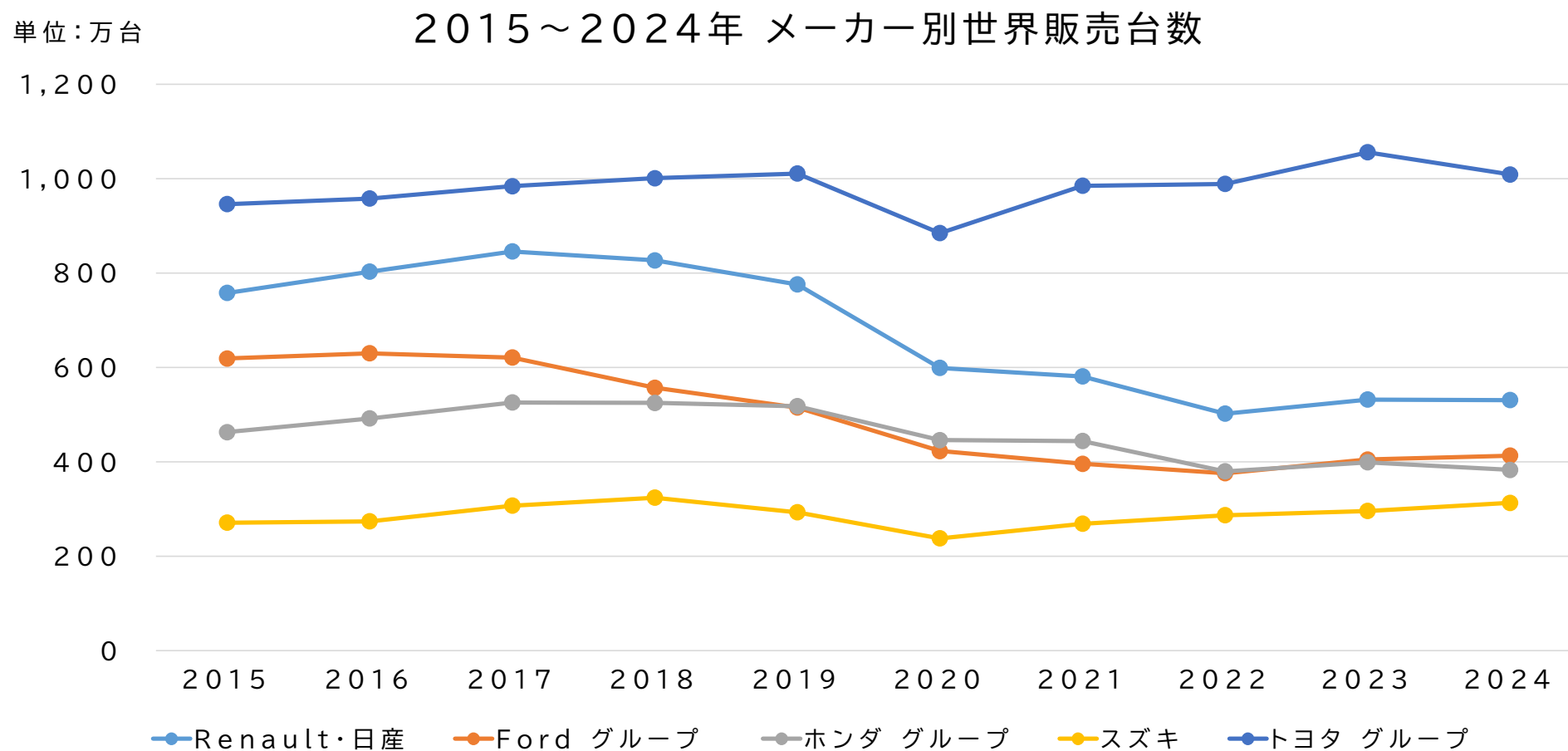
報告書 37～38ページ

事業報告

「事業報告」

報告書 6～26ページ

当社グループを取り巻く環境



連結経営成績（通期）

〈単位：億円〉

	第91期 通期	第92期 通期	前期比較	
			増減額	増減比率
売上高	527.7	539.2	11.4	2.2%
営業利益	43.7	40.3	△3.4	△7.8%
経常利益	45.4	43.9	△1.5	△3.2%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	17.7	29.5	11.7	66.2%

対前年度比較

増収減益

売上高
（増収）

日本拠点において中国市場における日系自動車メーカーの販売不振や、一部取引先の在庫調整に伴う生産調整の影響があったものの、主にアジア拠点において取引先における半導体供給不足による生産調整の影響が解消したことや、円安に伴う為替換算影響等により、増収

営業利益
（減益）

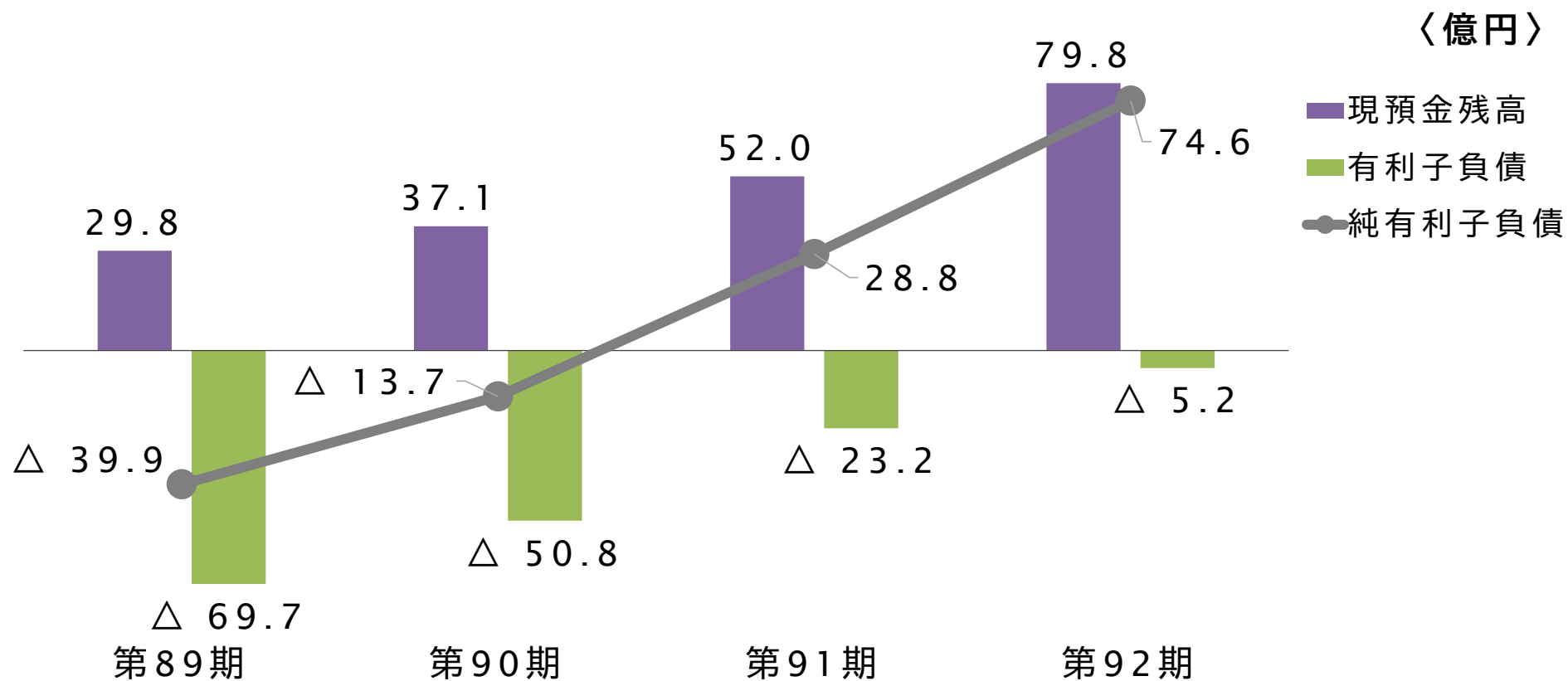
海外拠点における売上増加はあったものの、日本拠点における売上減少影響、並びに賃上げによる更なる労務費の増加やエネルギー価格高騰分の値上による仕入れコストの増加等により減益

事業セグメント概要

〈単位：億円〉

業務区分	第91期		第92期		増 減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ユニット事業	341.1	34.9	355.0	42.0	13.8 (4.1%)	7.1 (20.2%)
部品事業	186.2	8.6	183.8	△1.8	△2.3 (△1.3%)	△10.4 (—%)
その他事業	0.4	0.2	0.3	0.1	△0.1 (△19.5%)	△0.1 (△54.9%)
連結消去	—	0.1	—	0.1	— (—)	0.0 (—)
合 計	527.7	43.7	539.2	40.3	11.4 (2.2%)	△3.4 (△7.8%)

有利子負債と現預金残高の推移（連結）



設備投資等の状況

設備投資総額 **20.6** 億円

事業セグメント別主要投資

◆ ユニット事業	11.1 億円
◆ 部品事業	9.4 億円
◆ その他事業	0.1 億円

重要な子会社の状況

会社名	資本金	当社の出資比率	主要な事業内容
株式会社遠州クロム	10 百万円	100.00%	特殊メッキ加工業
株式会社ウエストレイク ※	15 百万円	100.00%	物流容器の洗浄および構内作業
富士協同運輸株式会社 ※	10 百万円	100.00%	貨物梱包業務
株式会社富士部品製作所	15 百万円	100.00%	自動車部品の製造販売
ユニバンス INC.	19 百万US\$	100.00%	自動車部品の製造販売
PT. ユニバンス インドネシア	48 百万US\$	98.13%	自動車部品の製造販売
ユニバンス タイランド Co., Ltd.	202 百万THB	100.00%	自動車部品の製造販売
ユニバンスアメリカ INC.	123 千US\$	100.00%	北米地域における営業及び市場調査

※ 株式会社ウエストレイクと富士協同運輸株式会社は、
2025年4月1日付で合併し、商号を「株式会社Kサービス」に変更しております

重要な子会社の状況（海外生産拠点）

タイ

UIVANCE (Thailand) Co.,Ltd.



4WD車用トランスファアの
ASEAN生産拠点



FR-トランスファー



FF-トランスファー

インドネシア

PT. UIVANCE INDONESIA



鍛造・熱処理を含む
一貫生産拠点



ギヤ / スリーブ / シャフト / フランジコンパニオン

米 国

UNIVANCE INC.



北米における現地化ニーズに
対応した生産拠点



コンパニオンフランジ



プーリー



バランス
シャフトギヤ

主要な事業内容

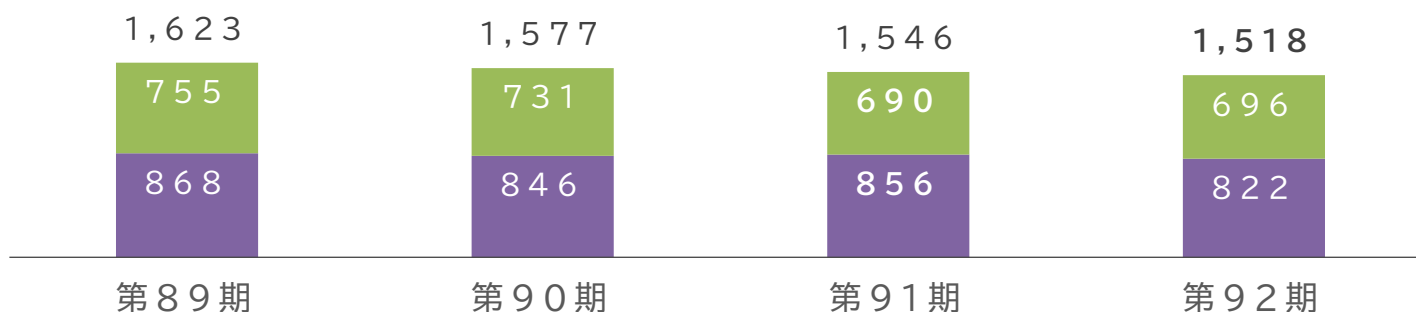
事業区分	事業内容	主要製品
ユニット事業	四輪駆動装置	FR 4WD車用トランスファー、FF 4WD車用トランスファー、4WD用コンポーネント、ATV用コンポーネント
	ギヤボックス	SUV・商用車用マニュアルトランスミッション、EV・HEV用ギヤボックスおよびギヤ
	産業機械	農業機械用トランスミッション、建設機械用減速機、フォークリフトトランスミッション用ギヤ
部品事業	部 品	AT・CVT用部品、デフ用部品、ワンウェイクラッチ、トランスミッション用部品、エンジン用ギヤ
その他事業	物流・工場附帯サービス	物流容器の洗浄、構内作業、貨物梱包業務

企業集団の現況に関する事項

従業員の状況

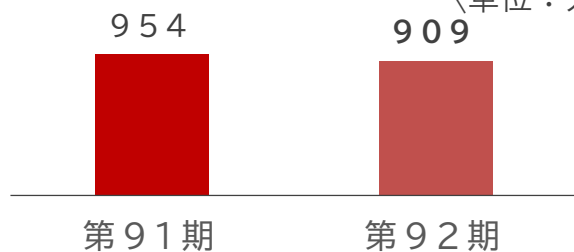
《従業員数推移》

■ 当社 ■ 連結子会社〈単位：人〉

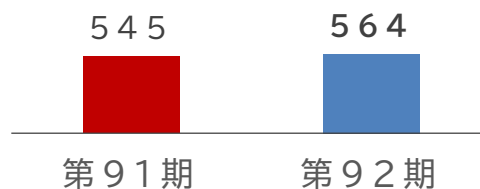


《事業区分別》

＜ユニット事業（連結）＞
〈単位：人〉



＜部品事業（連結）＞
〈単位：人〉



＜その他事業（連結）＞
〈単位：人〉



企業集団の現況に関する事項

主要な借入先および借入額

借入先	借入額
株式会社 静岡銀行	5.0 億円
株式会社 みずほ銀行	0.2 億円

企業集団の現況に関する事項

コミットメントライン契約の状況

銀行名	契約額	借入実行残高	借入未実行残高
株式会社 静岡銀行	5.0 億円	—	5.0 億円
株式会社 みずほ銀行	5.0 億円	—	5.0 億円
合 計	10.0 億円	—	10.0 億円

会社の株式に関する事項

(1) 発行可能株式総数

80,000,000 株

(2) 発行済株式の総数

23,396,787 株

(自己株式 2,566,772株を含む)

(3) 株主数 4,503 名

(4) 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率
鈴木 一 和 雄	2,215	10.64%
スズキ株式会社	1,937	9.30%
大同特殊鋼株式会社	1,900	9.12%
株式会社静岡銀行	956	4.59%
鈴木 真 保	485	2.33%
宮 本 愛 子	433	2.08%
谷 典 幸	410	1.97%
谷 史 子	374	1.80%
株式会社みずほ銀行	330	1.58%
谷 健 輔	320	1.54%
計	9,363	44.95%

会社役員に関する事項

取締役の状況

会社における地位	氏 名	担当および重要な 兼職の状況等
代表取締役 会長 (会長執行役員)	鈴木 一和雄	
取締役 副会長	谷 典幸	
代表取締役 社長 (社長執行役員)	高尾 紀彦	内部監査 担当
取 締 役	志藤 昭彦	株式会社ヨロズ 代表取締役会長、 マークラインズ株式会社 社外取 締役

会社における地位	氏 名	担当および重要な 兼職の状況等
取 締 役 (常勤監査等委員)	三好 通生	
取 締 役 (監査等委員)	森嶋 正	森嶋公認会計士 事務所 代表
取 締 役 (監査等委員)	山本 あつ美	山本あつ美公認会計 士事務所 所長、株式 会社IKホールディン グス 社外取締役(監 査等委員)、株式会社 ニイタカ 社外取締役 (監査等委員)

会社役員に関する事項

(ご参考)
執行役員

会社における地位	氏 名	担 当
執行役員	藤 崎 一	財 務 担 当 責 任 者 グ ル ー プ サ ポ ー ト 本 部 本 部 長 経 営 管 理、総 務、情 報 管 理、国 内 関 係 会 社 管 掌 品 質 保 証 最 高 責 任 者 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム 管 理 責 任 者
執行役員	谷 健 輔	新 事 業 推 進 管 掌
執行役員	大 石 哲 司	ト ラ ッ ク 4 W D プ ロ ジ ェ ク ト リ ー ダ ー 顧 客 満 足 推 進 管 掌 ユ ニ バ ン ス タ イ ラ ン ド C o . , L t d . 管 掌 ユ ニ バ ン ス タ イ ラ ン ド C o . , L t d . 取 締 役
執行役員	白 井 由 仁	産 機 プ ロ ジ ェ ク ト リ ー ダ ー 営 業、購 買、U V C (J A P A N) 管 掌 U V C (J A P A N) 取 締 役 営 業 部 部 長 (兼 務)
執行役員	鈴 木 一 郎	財 務 (財 務 会 計・資 金 管 理) 担 当
執行役員	磯 貝 隆 行	事 業 開 発 本 部 本 部 長 技 術、ユ ニ バ ン ス I N C、P T. ユ ニ バ ン ス イ ン ド ネ シ ア 管 掌 ユ ニ バ ン ス I N C. 取 締 役 P T. ユ ニ バ ン ス イ ン ド ネ シ ア 取 締 役 北 米 も の つ くり 変 革 プ ロ ジ ェ ク ト 担 当

会社役員に関する事項

取締役の報酬等

区 分	支給人員 (名)	報酬等の総額 (千円)	報酬等の種類別の総額(千円)		
			固定報酬	役員賞与 ※	左のうち、 非金銭報酬
取締役(監査等委員を除く) (うち社外取締役)	4 (1)	71,050 (5,600)	61,350 (4,800)	10,000 (800)	5,000 (400)
取締役(監査等委員) (うち社外取締役)	5 (4)	37,100 (15,300)	32,100 (13,500)	5,000 (1,800)	2,500 (900)
合 計 (うち社外役員)	9 (5)	108,450 (20,900)	93,450 (18,300)	15,000 (2,600)	7,500 (1,300)

※ 役員賞与については本総会第4号議案にて上程

会社役員に関する事項

社外役員に関する事項

① 他の法人等の業務執行者、社外役員の兼職状況

地 位	氏 名	兼 職 する 法 人 等	兼 職 の 内 容
社 外 取 締 役	志 藤 昭 彦	株 式 会 社 ヨ ロ ズ マ ー ク ラ イ ン ズ 株 式 会 社	代 表 取 締 役 会 長 社 外 取 締 役
社 外 取 締 役 (監 査 等 委 員)	森 嶋 正	森 嶋 公 認 会 計 士 事 務 所	代 表
社 外 取 締 役 (監 査 等 委 員)	山 本 あ つ 美	山 本 あ つ 美 公 認 会 計 士 事 務 所 株 式 会 社 I K ホ ー ル デ ィ ン グ ス 株 式 会 社 ニ イ タ カ	所 長 社 外 取 締 役 (監 査 等 委 員) 社 外 取 締 役 (監 査 等 委 員)
社 外 取 締 役 (監 査 等 委 員)	岡 野 隆 男	岡 野 法 律 事 務 所	代 表

会社役員に関する事項

社外役員に関する事項

② 当事業年度における主な活動状況 取締役会および監査等委員会への出席状況

地 位	氏 名	取締役会（17回開催）		監査等委員会（14回開催）	
		出席回数	出席率	出席回数	出席率
社外取締役	志藤 昭彦	17 回	100.0%	—	—
社外取締役 （監査等委員）	森嶋 正	17 回	100.0%	14 回	100.0%
社外取締役 （監査等委員）	山本 あつ美	17 回	100.0%	14 回	100.0%
社外取締役 （監査等委員）	岡野 隆男※	2 回	33.3%	1 回	20.0%

※ 岡野隆男氏は2024年10月23日辞任までに開催の出席回収と出席率

会計監査人の状況

(1) 名 称 有限責任 あずさ監査法人

(2) 報酬等の額

	支払額(千円)
当事業年度に係る会計監査人の 報酬等の額	34,000
当社および子会社が会計監査人に支払うべき 金銭その他の財産上の利益の合計額	34,000

会社の支配 に関する 基本方針

「当社の財務および事業の方針の決定を
支配する者の在り方に関する基本方針
(会社の支配に関する基本方針)」

報告書 23～26ページ

財務諸表

「連結貸借対照表」「連結損益計算書」

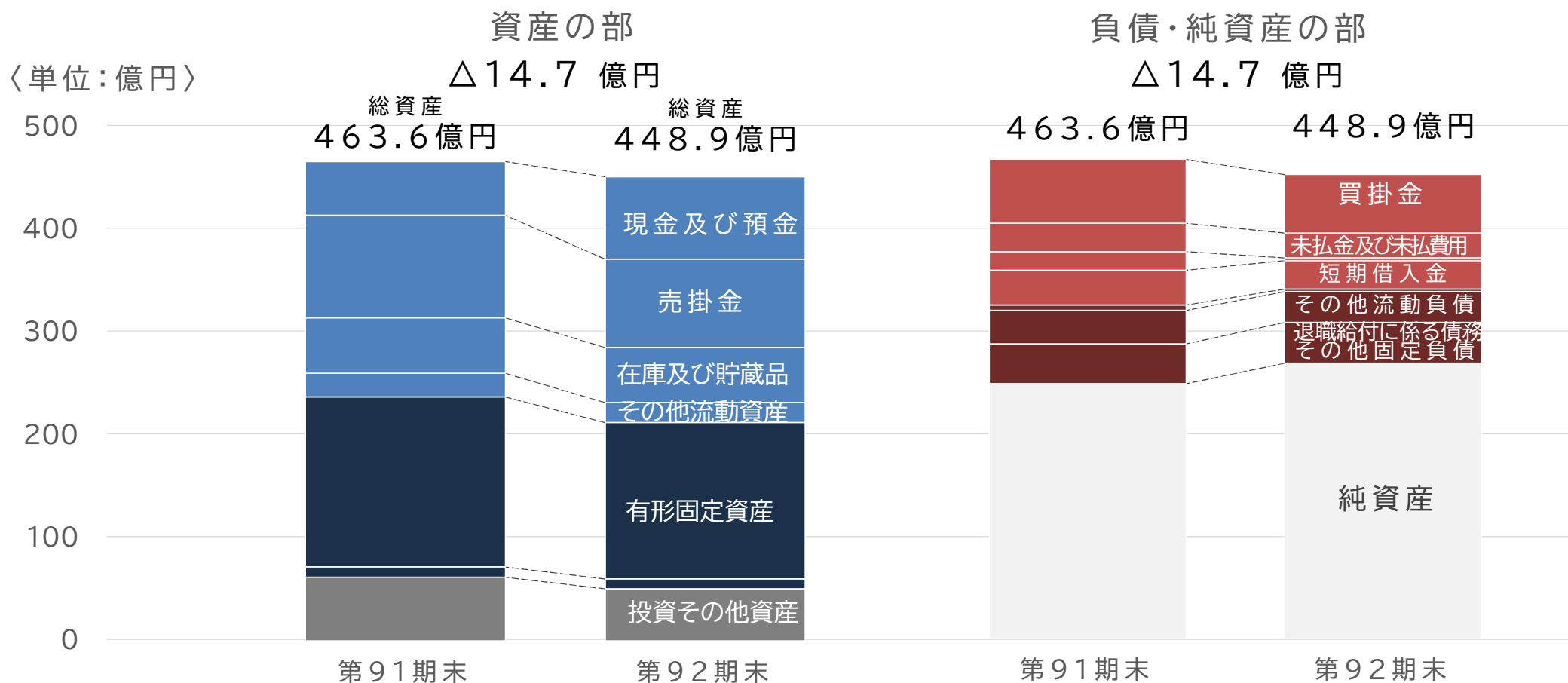
「連結株主資本等変動計算書」

「貸借対照表」「損益計算書」

「株主資本等変動計算書」

報告書 27～32ページ

連結貸借対照表の報告



連結損益計算書の報告

科 目	金 額（億 円）	売 上 高 比 率
売 上 高	5 3 9 . 2	1 0 0 . 0 %
営 業 費 用	4 9 8 . 8	9 2 . 5 %
営 業 利 益	4 0 . 3	7 . 5 %
営 業 外 収 益	4 . 9	0 . 9 %
営 業 外 費 用	1 . 3	0 . 2 %
経 常 利 益	4 3 . 9	8 . 1 %
特 別 利 益	0 . 6	0 . 1 %
特 別 損 失	5 . 1	1 . 0 %
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	3 9 . 4	7 . 3 %
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	2 9 . 5	5 . 5 %

連結株主資本等変動計算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで（単位：億円）

	株主資本					その他の包括利益累計額					純資産計
	資本金	資剰余金	利益剰余金	自株	己式株主資本計	その他の有価証券評価額	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整額	その他の利益累計額合計	非支配株主分	
当期首残高	35.0	21.7	140.0	△6.9	189.8	30.0	25.2	1.7	56.8	－	246.6
連結会計年度変動額											
剰余金の配当			△2.7		△2.7						△2.7
親会社株主に帰属する 当期純利益			29.5		29.5						29.5
自己株式の取得				△0.0	△0.0						△0.0
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額 (純額)						△7.7	△1.1	1.7	△7.0	0.1	△7.0
連結会計年度中の変動額合計	－	－	26.8	△0.0	26.8	△7.7	△1.1	1.7	△7.0	0.1	19.8
当期末残高	35.0	21.7	166.8	△6.9	216.6	22.2	24.1	3.4	49.8	0.1	266.4

連結子会社遠州クロムの環境対策について

発生事象 (リマインド)

浜松市の当社連結子会社、遠州クロムの工場敷地内地下水の自主調査により、環境省令に定める基準値を超える、特定有害物質六価クロムを検出したため、調査結果を浜松市に報告。その後の浜松市の水質調査で 0.56mg/L ※を検出し、2023年12月2日付で公表。初動対応として、遠州クロムを中心に半径500m圏内の62軒の井戸水の水質調査実施して、環境省令に定める基準値の超過なし(2023年12月27日付で公表)

※環境基準の28倍、排水水の排水基準の1.1倍

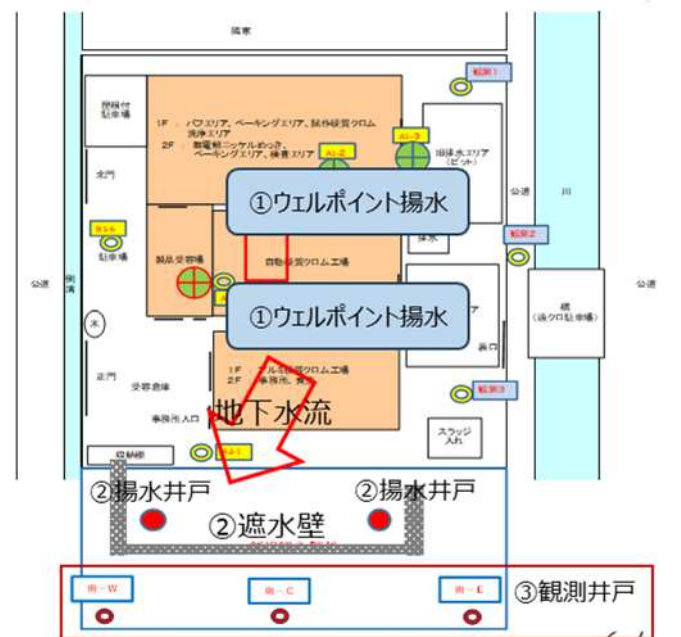
進捗状況

行政当局および専門家の指導の下、汚染地下水の流出防止対策を行い、2025年2月13日浜松市に「措置完了届」を提出し、受理されました

対策内容

- ① ウエルポイント揚水
地下内の六価クロム化合物の総量を減ずるため
- ② 遮水壁＋揚水
汚染地下水の敷地外への流出防止のため
- ③ 定期的な水質調査(遮水壁外の観測井での水質調査)
汚染地下水の敷地外への流出有無の監視のため

対策内容図



連結子会社遠州クロムの環境対策について

土壌浄化の方針変更について

- 対応方針**
- ・ 土壌浄化の早期化を図るため工場移転を伴う全面掘削とする
 - ・ 六価クロムの代替となるめっき技術開発を行い、移転先では六価クロムを使用しない

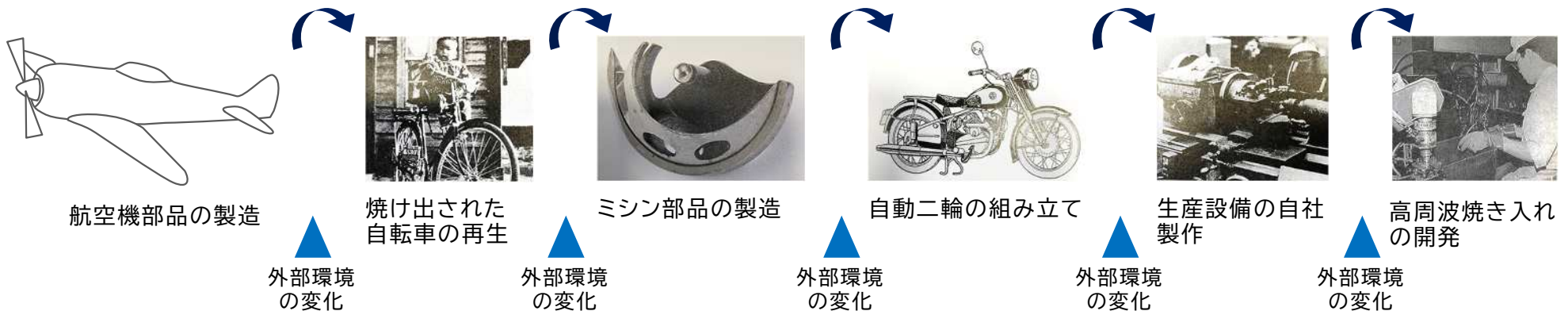
移転時期 2027年3月末を目標とする
代替めっき技術開発の目途付けは2026年3月末とする

※ 土壌浄化方法については、引き続き近隣住民・事業者の安心安全を最優先とし、行政当局および専門家の指導を仰ぎながら検討してまいります

※ 費用については、現在適切な工法や工期を調査・検討しているところであり、現時点で合理的に見積もることが困難です。当計画変更による連結業績への影響につきましては、精査の上、開示すべき事項が発生した場合には速やかに開示いたします

対処すべき課題 ～ユニバンスの歴史とこれから～

ユニバンスは、創業の精神「常に今よりも高きものに」をもとに、失敗を恐れず挑戦を続け、幾度となく変革を起こし成長してきた



しかし、いつしかその精神が失われ、失敗を恐れ、挑戦をしない体質になってしまった

自動車産業の「100年に一度の変革」が加速する今、ここからがユニバンスの第2の創業と考え、再び、**挑戦・失敗・学び**のプロセスを踏み、変革を起こし、今よりも高きものに、さらに成長していきたい

対処すべき課題 ～ Vision2030 ～

外部環境認識

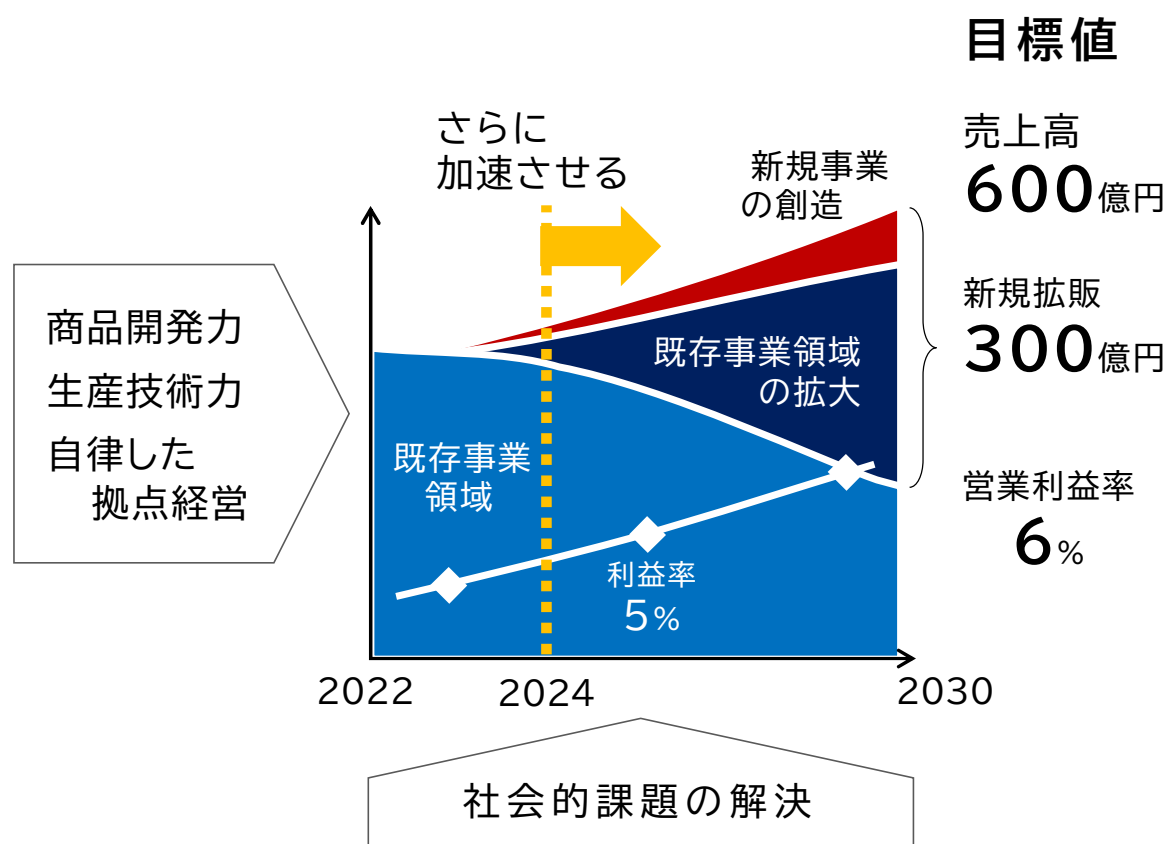
気候変動リスクなどの社会情勢、
労働環境の変化により、事業環境が
大きく変化している

前提条件

自動車電動化により既存事業の
売り上げは2030年に半減すると
想定する

重点活動

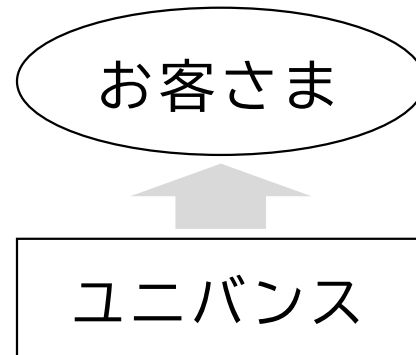
- 既存事業領域での競争力向上と
事業の拡大
- 新規事業の創造
- 企業基盤の強化



対処すべき課題 ～ Vision2030 ～

お客さまにソリューションを提案できる企業へ

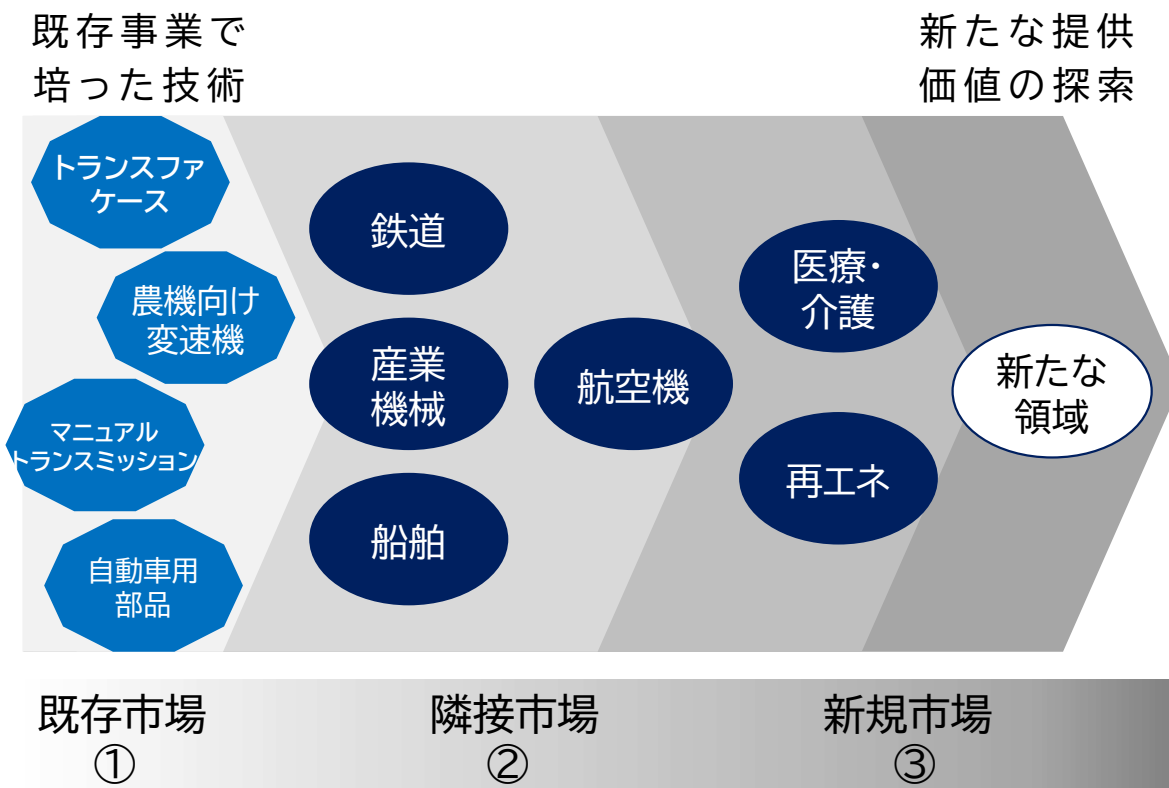
ものづくりを通じたことづくりで社会に貢献する



- 利己志向（効率重視）からお客さま志向（価値重視）へ
 - ・ 市場・顧客に対する理解を深める
 - ・ 課題を発見し解決する力、それを提案する力をつける
- 失敗を恐れる体質から、失敗から学ぶ体質へ
- あきらめず、とことんやる、深耕する

対処すべき課題 ～ 事業の拡大と創造：目指す市場領域 ～

既存事業でキャッシュを生み出し、新規市場へと事業を拡大



① ものづくり競争力を向上

既存資産を徹底的に活用
拠点に適したプロセス設計

② お客さま志向の提案型アプローチ

商品・技術開発力を向上し
ソリューションを創り出す

③ 潜在ニーズの探索

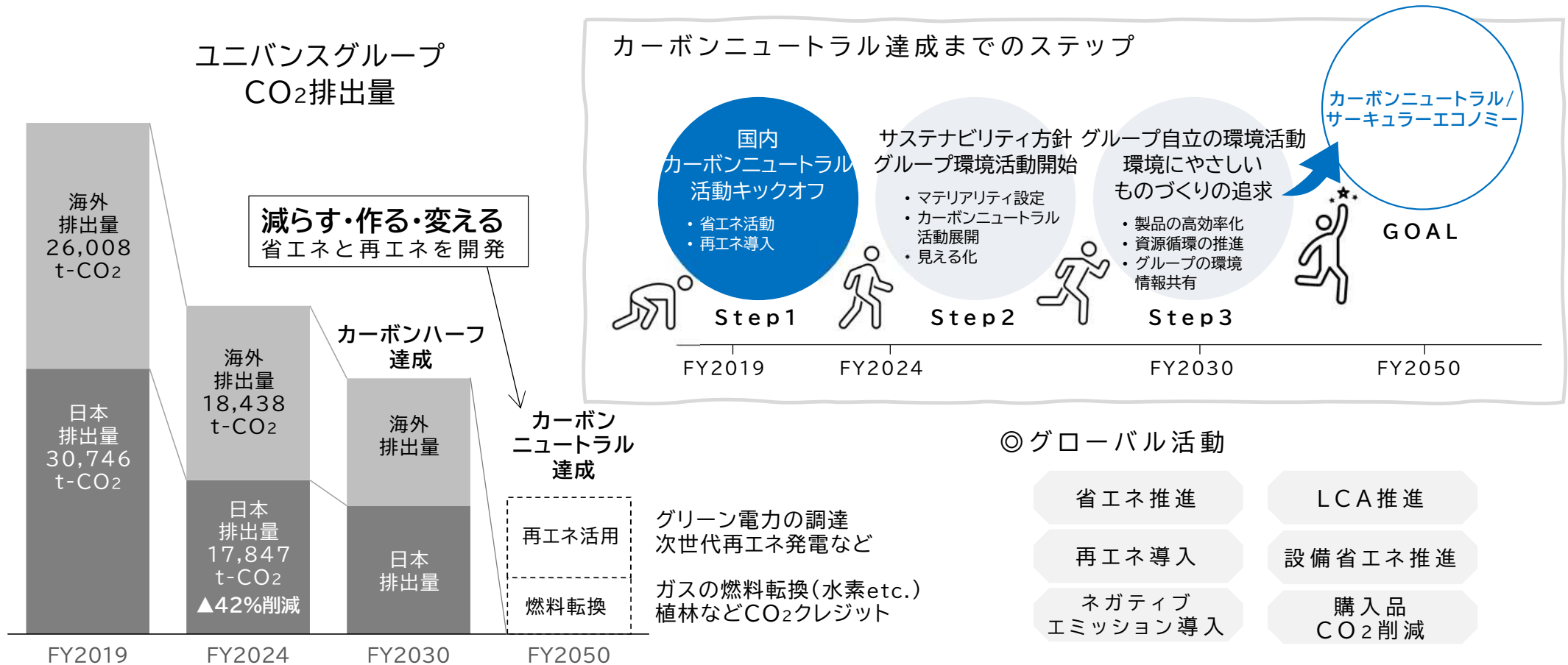
市場価値の仮説・立案する力、課題
解決力、創造力を磨く

対処すべき課題 ～ 事業の拡大：地域戦略 ～

地 域	オポチュニティ×競争優位
インド	人口増加と経済発展により成長中の市場（自動車・マイクロモビリティ・農機・建機）に、当社の既存事業モデルや技術と結び付けることで参入する
北 米	- ピックアップトラック・SUVの市場シェアを拡大する - 当社の競争力が優位である大型農業機械事業を拡大する - 米国関税政策に対し、生産拠点を活用してお客さまの現地調達化へ貢献する
アセアン	- アセアンに進出した中国企業に受け入れられる競争力をつけ、参入する - 中国企業の入りにくい市場で提供価値の差別化をし、ビジネスを創造する
日 本	- 今後再編される自動車業界の新たなサプライチェーンに参入する - ギヤ技術が活かせる電動モビリティ（航空機、船舶、ラストワンマイル）に参入する

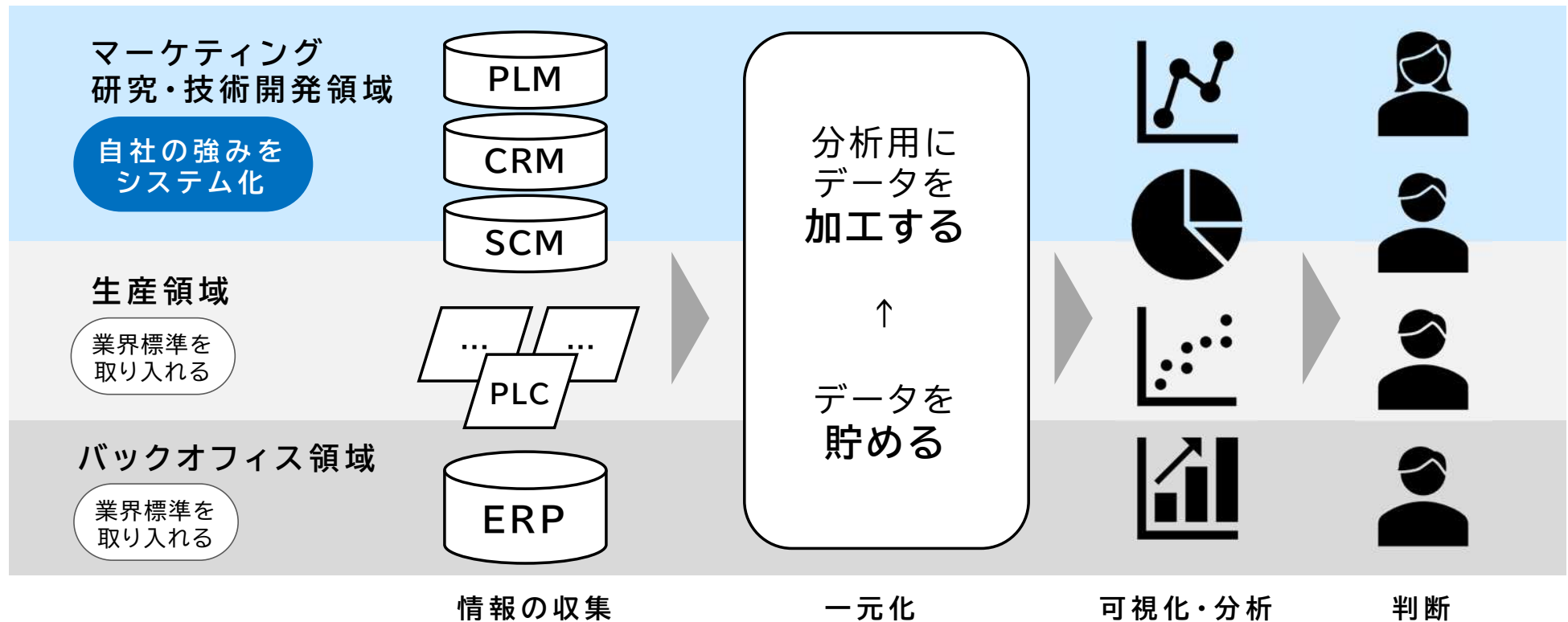
対処すべき課題 ～ 企業基盤の強化：カーボンニュートラル

2050年度までにユニバンスグループ全体のカーボンニュートラルを達成する



対処すべき課題 ～ 企業基盤の強化：DX ～

データドリブン経営の実現



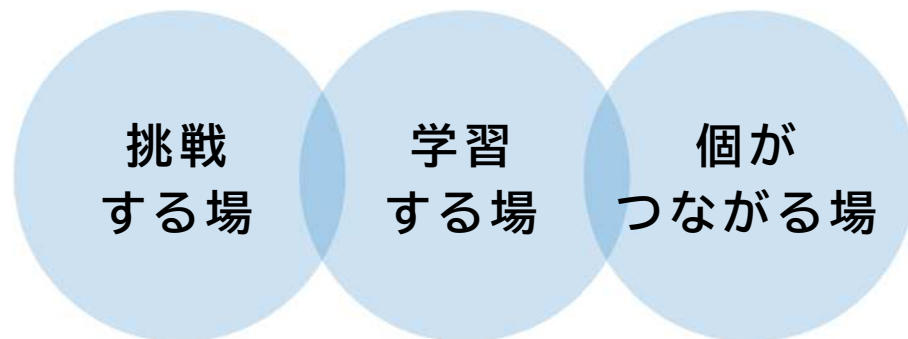
AI活用によりステークホルダーの満足を追求する

対処すべき課題 ～ 企業基盤の強化：人事戦略 ～

”管理”の人事から、”従業員の成長の場を提供する”人事へ

会社のあり方の転換

会社は、業務をこなす場から
価値を創造する場と再定義し、従業員が
自らのポテンシャルを開放できる”場”へ



ポテンシャルを引き出す人事制度

採用

挑戦マインドと多様性
を重視した採用へ

活用・育成

個と組織のマッチング
で自律と活躍を後押しする

評価・処遇

変革のための挑戦を
認め・報いる制度に

組織運営

変化に合わせ、柔軟に
フラットにつながる組織へ

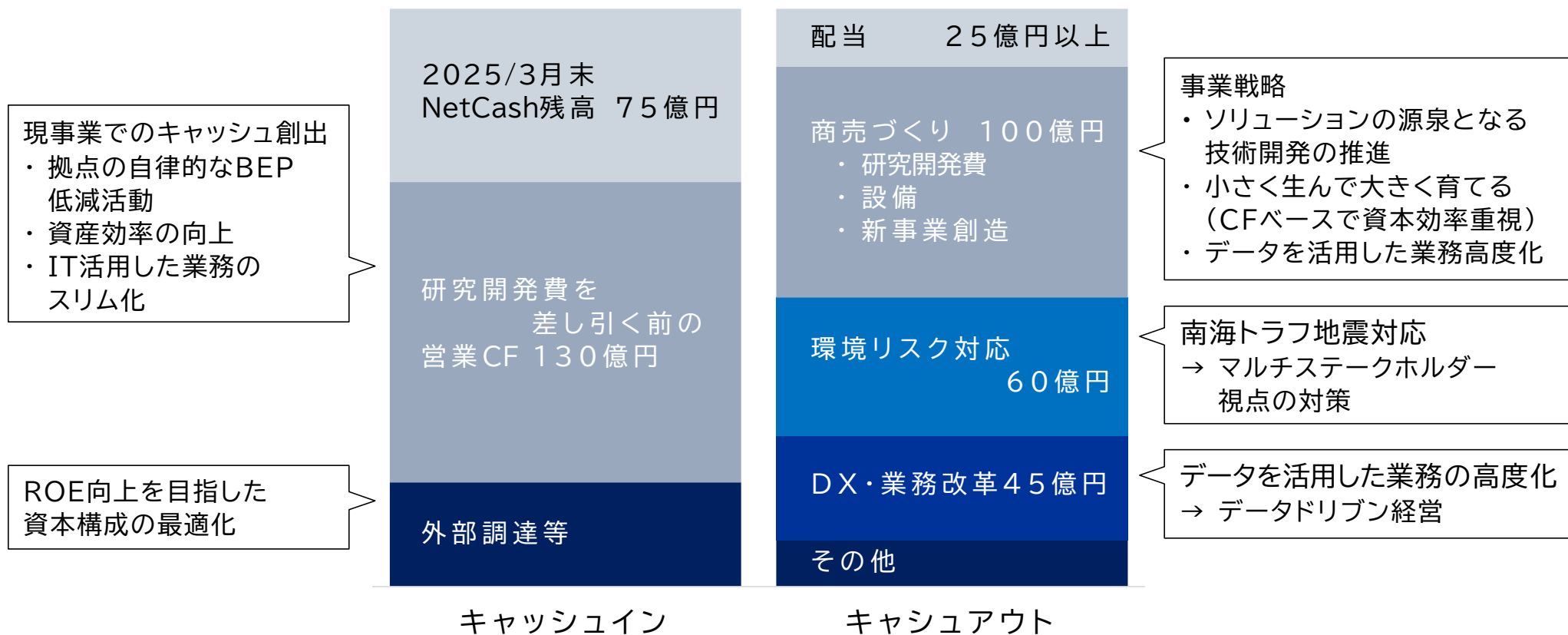
柔軟な働き方 従業員を支えるベース

外部環境や顧客ニーズの変化に立ち向かう戦う集団を目指し
従業員が最大限に能力を発揮できる環境に整備する

対処すべき課題 ～ 企業基盤の強化：財務戦略 ～

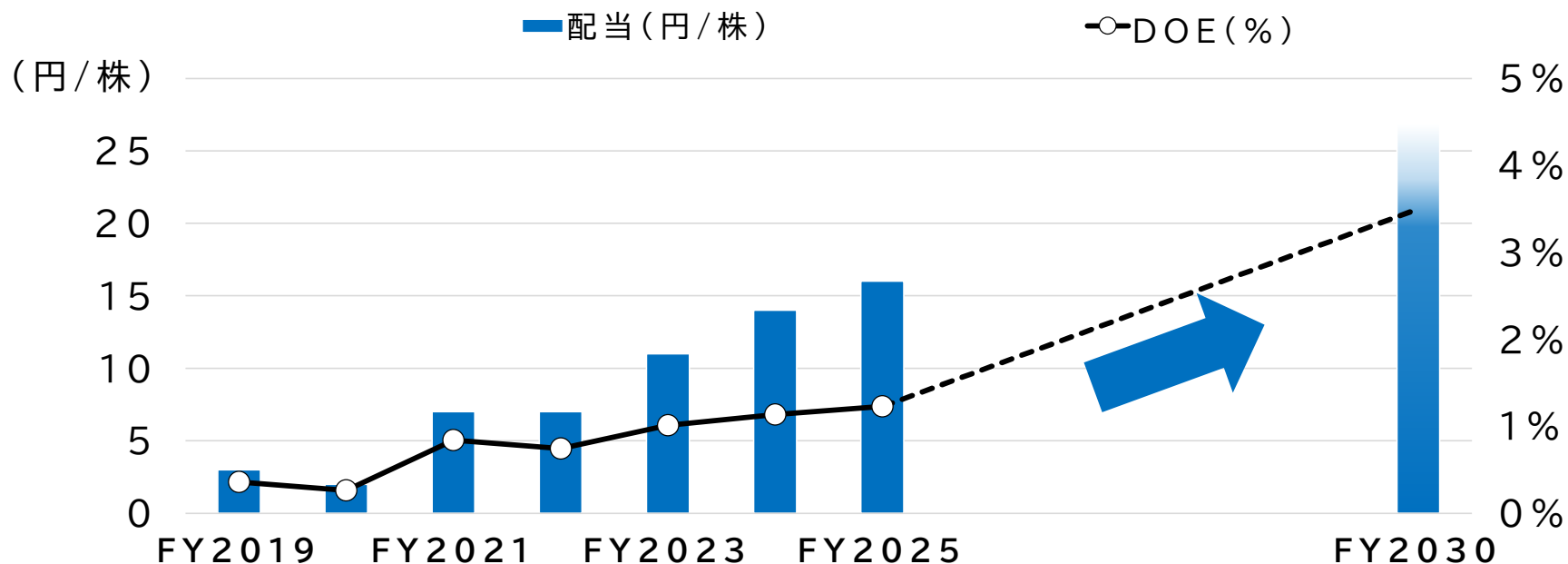
現事業の収益確保と将来への成長投資

Vision2030期間 2025～2030年度 6年間の累計



対処すべき課題 ～ 企業基盤の強化：株主還元 ～

株主資本配当率(DOE)を指標とした配当による継続的な還元



儲ける力である自己資本利益率(ROE)の向上をはかり
配当はDOEを指標として継続的に向上していく

(配当性向は参考にモニタリングする)

決議事項

「株主総会参考書類」

報告書 39～45ページ

第1号議案

報告書 39ページ

剰余金処分の件

(1) 期末配当金

1株につき、金7円

(中間配当金を含めた年間配当金は、1株につき金14円)

(2) 剰余金の配当が効力を生じる日

2025年6月25日

第2号議案

報告書 40～42ページ

取締役(監査等委員である取締役を除く。)4名選任の件

候補者 番号	候補者の氏名	当社における現在の地位
1	鈴木 一和雄	代表取締役会長(会長執行役員)
2	谷 典幸	取締役副会長
3	高尾 紀彦	代表取締役社長(社長執行役員)
4 ※	石川 伸一郎	—

※印は、社外取締役候補者であります

第3号議案

報告書 43～45ページ

監査等委員である取締役3名選任の件

候補者 番号	候補者の氏名	当社における現在の地位
1	三好 通生	監査等委員
2 ※	山本 あつ美	監査等委員
3 ※	松本 直樹	—

※印は、社外取締役候補者であります

役員賞与支給の件

役員賞与総額 15,000千円※

(うち監査等委員分 5,000千円)

※支給に関しましては、50%を一定の譲渡制限を付した
当社の普通株式で支給いたします

第92回 定時株主総会 閉 会

株式会社ユニバンス

2025年 6月24日